



栗東西中学校・学校だより No15

教育目標『心豊かでしなやかな生徒の育成』



2026(令和8)年3月24日
栗東市立栗東西中学校

つながり

学校教育目標「心豊かでしなやかな生徒の育成」の実現に向けて

激動の社会情勢の中、そしてAI技術等によって時の流れがますます早くなっている今日、未来を生き抜くためには「しなやかな力が必要であると考え、今年度学校教育目標を変更しました。そして1年、学級会を中心として、生徒同士の「つながり」を作る取り組みを進める中で、体育祭協働実行委員会やポジティブキャンペーンといった、自分たちの意見で学校、学年を良くしていこうという姿が見られるようになりました。それとともに改めて見えてきた課題もあります。これらを踏まえ引き続き教育活動を進めていきます。次年度の学校合言葉は「ひとりじゃない」です。これは生徒も保護者の方も教職員も、栗東西中学校に関わるすべての人が「ひとりじゃない」と感じられる学校を創りたいという強い思いが込められています。次年度もよろしく願いいたします。



今年度の生徒会テーマの意味は、「生徒みんなが行動して、栗東西中学校に良い風(嵐)を吹かし、より良く変えていきたい」ということです。またサブタイトルには生徒会として「責任を持って」取り組む決意が込められています。

保護者のみなさま、地域のみなさま

今年度は公立高校の入学試験の日程が早まった関係で、昨年度より少し早い3月6日に卒業式が行われ、272名の卒業生が栗東西中学校を巣立っていきました。

卒業生一人ひとりの証書を受け取る姿や感動的な答辞、心を一つに歌い上げた式歌等、子どもたちの旅立ちにふさわしい素晴らしい式となりました。私たち教職員もとても素敵な時間を共有させて



いただきました。ありがとうございました。

また、3月24日の修了式をもって、令和7年度の教育活動を終えることとなります。保護者、地域のみなさまにおかれましては、ご心配、ご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思ひます。つねに温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。